

- 留萌市、北海道及び国等からなる「留萌川減災対策協議会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、水防災意識啓発のための活動を実施。
- 大和田遊水地の模型や説明パネルの展示、浸水体験装置（浸水時のドアの開けづらさを体験）及び降雨体験装置（激しい雨や強風を体験）を用いた洪水等災害体験を行いました。
- 参加された方から、「遊水地の働きってすごい」との感想がありました。

第30回るもい川まつり 概要

目 的： 昭和63年に発生した留萌川における大規模出水の記憶をいつまでも忘れず後生へと引き継いでいくため、市民が参加できる手作りイベントを開催。洪水パネル展示、降雨体験や浸水体験などを通して、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

実 施 日： 令和元年8月18日（日）

実施場所： 高砂公園裏留萌川河川敷
（留萌市高砂町1丁目地先）

主 催： るもい川まつり実行委員会

後 援： 留萌市、留萌開発建設部、株式会社堀口組、エフエムもえる、ルルモッペ河川愛護の会

参加人数： 約1800人

取組内容： 洪水等災害体験、洪水パネル展示、遊水池模型の展示



実施状況



大和田遊水地模型の展示



浸水体験装置



降雨体験装置